

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日	(火)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策									
	発生場所	2号機T/B下屋上			2020/2/13	2020/2/13	2020/2/13				
	作業主管G	2号機建築グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/1/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-82				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ - $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属ガレキ(2019ZK-03087)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
	2	金属ガレキ(2019ZK-03088)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
	3	金属ガレキ(2019ZK-03090)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
	4	金属ガレキ(2019ZK-03091)	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	$\beta$ 有	0.08 mSv/h
	5						m <sup>2</sup>				
	※保管物品はいずれも66コンテナに収納。( )内はコンテナ番号。。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0170
				2020/2/14
調整後保管日時		2020年2月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-03087)	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	エリアW2	2020/2/25 11:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-03087	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-03088)	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	エリアW2	2020/2/25 11:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-03088	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-03090)	25 $\mu$ Sv/h	400 $\mu$ Sv/h	400 $\mu$ Sv/h	エリアW2	2020/2/25 11:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-03090	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-03091)	25 $\mu$ Sv/h	70 $\mu$ Sv/h	70 $\mu$ Sv/h	エリアW2	2020/2/25 11:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-03091	1
									m <sup>3</sup>			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ + $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ + $\gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0076

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	雨水散水設備設置工事									
	発生場所	タンクヤード全域						2020/1/29	2020/1/29	2020/1/29	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/22	測定者			測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-30	
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ				① ② ③	5 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※持込											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0183
				2020/1/29
調整後保管日時		2020年2月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/25 10:15	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0076

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水散水設備設置工事								
	発生場所	タンクヤード全域						2020/1/29	2020/1/29	2020/1/29
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/22	測定者		測定器名	電離箱測定器		管理番号	F1-ICWBL-30	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 ※持込									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0184
				2020/1/29
調整後保管日時		2020年2月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/2/25 11:25	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0073

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	北側エリア仮設高圧変圧器盤除却工事								
	発生場所	1F構内					2020/1/30	2020/1/30	2020/1/30	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-139		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	変圧器盤(ベース架台付1面)			B 03 D A	5 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無		
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0201
				2020/1/30
調整後保管日時		2020年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	変圧器盤(ベース架台付1面) ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 10:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履歴			
					A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0076

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	雨水散水設備設置工事								
	発生場所	H6(1)エリア						2020/1/30	2020/1/30	2020/1/30
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/27	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-30
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	金属ガラ			B 01 D B	5 m <sup>3</sup>	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0203
				2020/1/30
調整後保管日時		2020年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 9:35	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F構内放置品の片付け業務委託									
	発生場所	5-6号開閉所周辺						2020/1/30	2020/1/30	2020/1/30	
	作業主管G	工事基盤整備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/2/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	152	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
	2	不燃物その他	B	10	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
	3	不燃物その他	B	10	D	A	18 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.05 mSv/h
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
No.3 6m3コンテナ:3基											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0213
				2020/1/31
調整後保管日時		2020年2月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 10:40	13 m <sup>2</sup>			1
	3	1	6m3コンテナ(SS-00451)⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/26 10:40	6 m <sup>3</sup>		SS-00451	1
	3	2	6m3コンテナ(SS-00390)⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/26 10:40	6 m <sup>3</sup>		SS-00390	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0012

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1～4号機建屋内照明設置工事(二期工事)										
	発生場所	1F構内						2020/1/30	2020/1/30	2020/1/30		
	作業主管G	所内電源グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/30		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	FICWβL-108	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③								
	1	紙・ウエス	A	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	2	ポリ・ビニール	A	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	3	木材	A	03	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	4	金属ガラ	B	01	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	5	ケーブル	B	08	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無		
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0217
				2020/1/31
調整後保管日時		2020年2月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-6
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 11:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ポリ・ビニール	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 11:00	1.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	木材	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 11:00	0.3 m <sup>2</sup>			2
	5	1	ケーブル①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 11:00	0.3 m <sup>2</sup>			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作業主管理入欄	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策								
	発生場所	2号機T/B下屋屋上								
	作業主管G	2号機建築グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/1/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-82		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	金属ガレキ(2019ZK-03058)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
2	金属ガレキ(2019ZK-03055)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
3	金属ガレキ(2019ZK-03128)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
4	金属ガレキ(2019ZK-03124)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.02 mSv/h	0.06 mSv/h	β有	0.08 mSv/h
5						m <sup>3</sup>				
※保管物品はいずれも66コンテナに収納。( )内はコンテナ番号。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0220
				2020/2/19
調整後保管日時		2020年2月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-03058)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2020/2/27 11:00	6 m <sup>3</sup>		ZK-03058	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-03055)	25 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW2	2020/2/27 11:00	6 m <sup>3</sup>		ZK-03055	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-03128)	25 μSv/h	50 μSv/h	50 μSv/h	エリアW2	2020/2/27 11:00	6 m <sup>3</sup>		ZK-03128	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-03124)	25 μSv/h	80 μSv/h	80 μSv/h	エリアW2	2020/2/27 11:00	6 m <sup>3</sup>		ZK-03124	1
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機Rw/B屋上部ガレキ撤去業務委託								
	発生場所	3号機RW/B(GJ-24北側)					2020/2/3	2020/2/1	2020/2/1	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/2/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-51		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.07 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0227
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 10:05	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日	(水)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	1F-3号機Rw/B屋上部ガレキ撤去業務委託					
	発生場所	3号機RW/B(GJ-24北側)			2020/2/3	2020/2/1	2020/2/1
	作業主管G	3号機建築グループ	監理員		TEL		
	元請会社		担当者		TEL		
線量測定年月日		2020/2/1	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号
No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h
2						m <sup>2</sup>	
3						m <sup>2</sup>	
4						m <sup>2</sup>	
5						m <sup>2</sup>	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0228
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/2/26 10:20	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Cエリアタンク基礎他設置工事および同関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>					
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
注:10tダンプ車にて持参します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0236
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/27 8:10	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Cエリアタンク基礎他設置工事および同関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
メ モ	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0237
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアG	2020/2/27 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0017

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Cエリアタンク基礎他設置工事および同関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア					2020/2/3	2020/2/3	2020/2/3	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	保管物名	①	②	③					
2	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0238
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月27日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/2/27 8:40	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0017

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	Cエリアタンク基礎他設置工事および同関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員				
	元請会社					担当者				
	線量測定年月日	2020/1/6	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0239
調整後保管日時				2020年2月27日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアG	2020/2/27 10:40	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	蒸発濃縮装置撤去(仮称)							
	発生場所	Cエリア							
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/23	測定者		測定器名	F1-ICW-331	管理番号	F1-ICWBL-34	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウェス類	A 01	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h
	3	可燃物その他	A 04	D	B	0.2 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h
	4	金属ガラ	B 01	D	B	0.1 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h
	5	難燃物その他	C 04	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.005 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有 0.04 mSv/h

受 付 番 号			
廃2020	—	02	— 0243
調整後保管日時			2020年2月28日 10:30
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2020年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.2 m <sup>2</sup>		ZK-02393	1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.2 m <sup>2</sup>		ZK-02393	1
	3	1	可燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.2 m <sup>2</sup>		ZK-02393	1
	4	1	金属ガラ	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.2 m <sup>2</sup>		SS-00480	1
	5	1	難燃物その他	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	15 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.3 m <sup>2</sup>		ZK-02393	1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ ZK-02393表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=7  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=7  $\mu$  Sv/h  
SS-00480表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=7  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=7  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	機器類・制御盤類	B	10	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
	7	難燃シート類	C	02	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
	8	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.2	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
	9	不燃物その他	B	10	D	B	0.4	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h
	10	木材類	A	03	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	0.005	mSv/h	0.01	mSv/h	$\beta$ 有	0.04	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2020	—	02	—	0243

保管 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	機器類・制御盤類	5	$\mu$ Sv/h	30	$\mu$ Sv/h	800	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.3	m <sup>3</sup>		SS-00480	1
	7	1	難燃シート類	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.2	m <sup>3</sup>		ZK-02393	1
	8	1	塩化ビニール類	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	30	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.3	m <sup>3</sup>		ZK-02393	1
	9	1	不燃物その他	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	40	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	1.5	m <sup>3</sup>		SS-00480	1
	10	1	木材類	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/28 10:10	0.6	m <sup>3</sup>		ZK-02393	1
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				
												m <sup>3</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	蒸発濃縮装置撤去(仮称)							
	発生場所	エバポ周辺～C2エリア					2020/2/3	2020/2/3	2020/2/3
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/1/22	測定者		測定器名	F1-ICW-331	管理番号	F1-ICWBL-34	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	金属ガラ	B 01	D A	0.4 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	保温材	B 06	D A	0.4 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
	5				m <sup>2</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0244
				2020/2/3
調整後保管日時		2020年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 10:20	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 10:20	0.4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不 燃 物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	②	C	難 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		D	伐 採 木	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0073

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	北側エリア仮設高圧変圧器盤除却工事								
	発生場所	1F構内					2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-139		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	FEP	C	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0250
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-163
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	FEP (→H)	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/27 10:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0073

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	北側エリア仮設高圧変圧器盤除却工事								
	発生場所	1F構内					2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/24	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ケーブル	B	08	D	A	5 m	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m			
	3						m			
	4						m			
	5						m			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0252
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月28日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 9:50	4 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0085

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	6R D/G他点検手入工事(第5回計画点検)								
	発生場所	6号 取水路エリア					2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4	
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/17	測定者		測定器名	ICW	管理番号	1F-ICWBL-122		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃シート	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	塩ビ管	B	05	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	3	シリコン空容器	B	10	D	B	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4	シール剤ガラ	B	10	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	無
5	計測器類	B	03	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0254
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICWBL	F1-ICWBL-163
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃シート②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	塩ビ管 (→H)	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/25 9:30	0.2 m <sup>2</sup>			2
	3	1	シリコン空容器 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	4	1	シール剤ガラ ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1
	6	1	鉄屑 ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:40	0.5 m <sup>2</sup>			1

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2020	—	02	—	0254

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0085

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	6R D/G他点検手入工事(第5回計画点検)								
	発生場所	6号 取水路エリア						2020/2/4	2020/2/4	
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/17	測定者			測定器名	ICW	管理番号	1F-ICWBL-122	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	木材	A	03	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
2	ポリ容器	A	02	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
3	ビニール	A	02	D	B	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.007 mSv/h	無	
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta + \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0255
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアO	2020/2/25 10:00	0.2 m <sup>3</sup>			1
	2	1	ポリ容器 (→H)	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h		エリアO	2020/2/25 10:00	1 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設3テント					2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/1/28	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-90
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	紙・ウエス(2019 NS-00725)			A 01 D B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	β有	30 mSv/h
2	木材(2019 NS-00466)			A 03 D B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	β有	6 mSv/h
3	難燃シート(2019 NS-00468)			C 02 D B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	β有	5 mSv/h
4					m <sup>2</sup>				
5					m <sup>2</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0256
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00725) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:30	6 m <sup>3</sup>		NS-00725	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00466) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:30	6 m <sup>3</sup>		NS-00466	1
	3	1	6m3コンテナ(NS-00468) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:30	6 m <sup>3</sup>		NS-00468	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設3テント									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/24	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-80			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	木材(2019 NS-00697)	A	03	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	$\beta$ 有	2.5 mSv/h
	2	木材(2019 NS-00761)	A	03	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	$\beta$ 有	15 mSv/h
	3	木材(2019 NS-00760)	A	03	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	$\beta$ 有	2.5 mSv/h
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0257
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00697) ⑤	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 10:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00697	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00761) ⑤	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 10:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00761	1
	3	1	6m3コンテナ(NS-00760) ⑤	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/25 10:50	6 m <sup>3</sup>		NS-00760	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013209 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	2019年度消防設備保守点検業務委託								
	発生場所	運用補助共用施設					2020/2/3	2020/2/3	2020/2/3	
	作業主管G	建築保全・総括グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/1/29	測定者		測定器名	ICW		管理番号	1F-ICW-407	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	ボンベ(空)82.5L			B 01 D A	3.6 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類			A 01 D A	0.1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	ポリ・ビニール類			A 02 D A	0.1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	可燃物その他			A 04 D A	0.1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5					m				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0258
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2		ICW	F1-ICW-393	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ボンベ(空)82.5L ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/26 10:30	4 m			1
	2	1	紙・ウエス類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 10:10	0.05 m			2
	3	1	ポリ・ビニール類	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 10:10	0.1 m			2
	4	1	可燃物その他	4 μSv/h	4 μSv/h		エリアO	2020/2/26 10:10	0.05 m			2
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側					2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0261
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 / 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/25 8:20	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側						2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0262
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/25 9:50	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員			TEL			
	元請会社			担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0263
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/26 8:20	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事									
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4			
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-108		
G 記 入 欄 メモ	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0264
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/26 8:40	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	9:00	承認	審査	作成												
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事																		
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4												
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	コンクリートガラ	B						02	D	A	3	m <sup>3</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
		2											m <sup>3</sup>							
		3											m <sup>3</sup>							
		4											m <sup>3</sup>							
5						m <sup>3</sup>														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0265
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/26 9:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 欄	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーバイメータ		管理番号	F1-ICWβL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0266
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/2/26 9:45	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	鉄くず	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0267
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 8:30	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側						2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4
	作業主管G	所内電源グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	鉄くず	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
メ モ	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0268
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 8:35	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	鉄くず	B	01	D	A	3 m <sup>3</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0269
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/25 9:10	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事							
	発生場所	K4タンク南側							
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	
	1	鉄くず	B	01	D	A	3 m <sup>3</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0270
調整後保管日時				2020年2月27日 9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鉄くず①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/27 10:00	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側				2020/2/4	2020/2/4	2020/2/4		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	不燃物	B	10	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0273
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/26 8:50	3 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事									
	発生場所	K4タンク南側									
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	不燃物	B	10	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0274
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月28日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 8:50	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事									
	発生場所	K4タンク南側									
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	不燃物	B	10	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>3</sup>				
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0275
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月28日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/2/28 9:00	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

保 管 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事								
	発生場所	K4タンク南側								
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWB L-108		
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物	B	10	D	A	3 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0276
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月28日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 9:05	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウイス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0007

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	9:30	承認	審査	作成
	作業件名	門型サポート電路補強関連除却工事						
	発生場所	K4タンク南側						
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物	B 10	D A	3 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
	2				m <sup>3</sup>			
	3				m <sup>3</sup>			
	4				m <sup>3</sup>			
	5				m <sup>3</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	02	—	0277
				2020/2/4
調整後保管日時		2020年2月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月28日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/2/28 9:10	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		D	伐採木	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0183

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月27日	(木)	10:30	承認	審査	作成				
	作業件名	センウム吸着装置保守管理委託									
	発生場所	AREVAエリア(GJ-28)、HTI建屋屋外(GK-27)									
	作業主管G	処理設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2020/1/27	測定者		測定器名	F1-ICW/F1-ICWBL	管理番号	146/19			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β-α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
	1	機器類・制御盤(発電機2台)	B	03	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.015 mSv/h	0.015 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 処理方法: 持込 日時: 2020年2月27日 10:30										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0295
調整後保管日時				2020年2月27日 10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤(発電機2台) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/2/27 9:50	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0183

作 業 主 告 白 欄	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	セシウム吸着装置保守管理委託							
	発生場所	工作建屋屋外(グリッド番号:GK-26)							
	作業主管G	処理設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/1/27	測定者		測定器名	F1-ICW/F1-ICWBL	管理番号	146/19	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	機器類・制御盤(発電機1台)	B 03	D	B	6 m <sup>2</sup>	0.015 mSv/h	0.015 mSv/h	無
	2					m <sup>2</sup>			
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 処理方法: 持込 日時: 2020年2月28日 10:30								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0296
				2020/2/5
調整後保管日時		2020年2月28日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤(発電機1台) ①	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/2/28 10:00	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013108 - 0009

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月27日	(木)	8:30	承認	審査	作成													
	作業件名	ガレキ一時保管施設防水対策工事																		
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2020/2/6	2020/2/6	2020/2/5													
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL															
	元請会社			担当者	TEL															
	線量測定年月日	2020/1/20	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	金属ガラ	B						01	D	A	5	m <sup>3</sup>	3	μSv/h	3	μSv/h	無	
		2											m <sup>3</sup>							
		3											m <sup>3</sup>							
		4											m <sup>3</sup>							
5						m <sup>3</sup>														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0313
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2020/2/27 8:30	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013206 - 0010

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月25日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	免震重要棟他浄化槽統合工事								
	発生場所	免震重要棟西側駐車場(GM-20 中央)				2020/2/5	2020/2/5	2020/2/5		
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2020/2/4	測定者		測定器名	シンチレーション	管理番号	F1-SC-026		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	10 m <sup>2</sup>	3.04 $\mu$ Sv/h	2.87 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
企業殿持込み										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0318
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/2/25 9:55	6 m <sup>2</sup>			1
	1	2	アスファルトガラ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/2/25 10:00	4 m <sup>2</sup>			1
	1	3	アスファルトガラ ⑩	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/2/25 10:40	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013215 - 0048

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2020年2月27日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	構外バス待合所本設化工事								
	発生場所	旧事務本館東側								
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/1/31	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-051	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	石膏ボード(2019ZK-02734)	B	10	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
2	石膏ボード(2019ZK-02407)	B	10	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
3	石膏ボード(2019FU-00190G)	B	10	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0319
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02734) ⑤	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/27 9:35	6 m <sup>3</sup>		ZK-02734	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02407) ⑤	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/27 9:35	6 m <sup>3</sup>		ZK-02407	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00190G) ⑤	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(屋外)	2020/2/27 9:35	6 m <sup>3</sup>		FU-00190G	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄に「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。															
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。															

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013215 - 0048

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月28日		(金)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	構外バス待合所本設化工事									
	発生場所	旧事務本館東側				2020/2/5	2020/2/5	2020/2/5			
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/1/22	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICWBL-051			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ(2019ZK-02426)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2	金属ガラ(2019ZK-02634)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	3	金属ガラ(2019SS-00071)	B	01	D	A	6 m <sup>3</sup>	0.007 mSv/h	0.007 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>					
注: α有、β・α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0320
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月28日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月28日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02426) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアPI(屋外)	2020/2/28 10:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-02426	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02634) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアPI(屋外)	2020/2/28 10:40	6 m <sup>3</sup>		ZK-02634	1
	3	1	6m3コンテナ(SS-00071) ⑤	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアPI(屋外)	2020/2/28 10:40	6 m <sup>3</sup>		SS-00071	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテ ゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫管理棟付近(GM-17)								
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/23	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-139	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	アスファルトガラ			B 09 D A	3 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.22 mSv/h	β 有	0.27 mSv/h
2					m <sup>3</sup>					
3					m <sup>3</sup>					
4					m <sup>3</sup>					
5					m <sup>3</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0321
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 μSv/h	10 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2020/2/26 8:00	3 m <sup>3</sup>		SS-00131	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β+γ線量率=10 μSv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月26日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫管理棟付近(GM-17)								
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/12/23	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-139		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無 $\beta$ 有	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.22 mSv/h	0.27 mSv/h
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0322
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年2月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/26 8:05	3 m <sup>3</sup>		SS-00414	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7  $\mu$  Sv/h, 表面線量率=7  $\mu$  Sv/h,  $\beta + \gamma$  線量率=7  $\mu$  Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年2月27日	(木)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事					
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫管理棟付近(GM-17)			2020/2/8	2020/2/4	2020/2/4
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ		監理員		TEL	
	元請会社			担当者		TEL	
線量 測 定 入 欄	線量測定年月日	2019/12/23	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号
							F1-ICWBL-139
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無 $\beta$ 有
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>3</sup>
メ モ	2					m <sup>3</sup>	
	3					m <sup>3</sup>	
	4					m <sup>3</sup>	
	5					m <sup>3</sup>	
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0323
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/27 8:00	2 m <sup>3</sup>		SS-00414	1
	1	2	アスファルトガラ	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/27 8:00	1 m <sup>3</sup>		SS-00468	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	SS-00414表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=10 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=10 $\mu$ Sv/h											
	SS-00468表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=7 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 $\mu$ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013214 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年2月27日	(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	共用プール西側ヤード整備工事関連除却工事							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫管理棟付近(GM-17)							
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/12/23	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-139	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無 $\beta$ 有	$\beta + \gamma$ 線量率
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	3 m <sup>3</sup>	0.03 mSv/h	0.22 mSv/h	0.27 mSv/h
2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>			
4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>			
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	02	—	0324
				2020/2/6
調整後保管日時		2020年2月27日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年2月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	5 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2020/2/27 8:05	3 m <sup>3</sup>		SS-00468	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 $\mu$ Sv/h, 表面線量率=7 $\mu$ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=7 $\mu$ Sv/h												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。